

五 日本公使館ニ於テ徐樹錚等庇護一件 四八五

六〇四

惹成スルヲ欲セス故ニ曩ニ申進スル所アリタル次第ナリ蓋シ玩法ノ徒勢ヒ必ス在北京公使館ヲ恃ミテ遁竄ノ所ト為スコトトナルヘク支那ノ内治北京ノ治安ニ対シ莫大ノ危険トナラン貴公使固ヨリ公理法律ヲ重セラル以上斯ノ如キ事態ノ發生ヲ希ハサルヘン且駐在国ニ公使タル以上其ノ措施ニ依リ駐在国ノ内政ニ困難ヲ生セシムヘキニアラサルハ是レ國際ノ通義ナリ明達貴公使ノ如キ深ク此ノ辺ヲ知悉シ居ラルコトト察セラル就テハ貴公使ニ於テ平心ヲ以テ体察セラレ十一月二十日付公文所載ノ辦法四ヶ条ニ対シ円満答覆ヲ与ヘラレンコトヲ切望ストノ趣旨ヲ知照シ来レルヲ以テ小幡公使ハ十二月二十四日付公文ヲ以テ上記支那側來照ハ要スルニ前言ヲ反覆スルニ過キス而シテ右ニ対シテハ已ニ前來我方公文ニ委曲縷述セル通ナルニ付改メテ再説ノ要ナク支那政府ニ於テ虚心冷静ニ我方迭次ノ説明ヲ熟読セム

コトヲ希望スルノ外無シ只公使館ニ於テ政治上ノ理由ニ依リ一身ノ保護ヲ請求シタルモノヲ收容庇護スルノ件ハ西班牙其ノ他南米等ニ於テ之ヲ認メタル例枚挙ニ違アラス近來歐米諸國ニ其ノ事ナキハ偶々之等諸國ノ政情斯ノ如キ庇護ヲ人道上必要トセサルカ為ニ外ナラス少クトモ支那ニアリテハ民国六年康有為米國公使館ニ黎元洪日本公使館ニ又張勲和蘭公使館ニ避難庇護ヲ受ケタルカ如キ其ノ頗著ナル実例ニシテ其ノ公使館ノ庇護ヲ請求スルノ止ムヲ得サルニ至レル政治的動機原因若ハ其ノ避難者ノ政治上ノ立場等ノ如何ニ論ナシ事情前頭ノ通ナルヲ以テ日本公使館ニ於テ保護ヲ加ヘタル諸氏ノ避難カ現ニ政治上ノ理由ニ基クコト明確ナル以上普通刑事犯罪ノ存否ヲ論セス之カ引渡シ等ノ要求ニ応スルコト能ハサル次第ナル旨覆答シ置キタリ

事項六 中國ヘノ兵器供給ニ關スル件

四八六 二月六日 在南京岩村領事ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

江蘇督軍ヨリ多賀大佐ニ日本ヨリ契約兵器交付方依嘱アリタル件ニ付請訓ノ件

第五号

二月五日李督軍ハ特ニ多賀大佐ヲ招致シ日本ノ武器供給停止ニ付テハ屢弁解ヲ聽キタルモ尚积然タラストテ江蘇省民ニ対シ自己ノ困難ナル立場ニ在ルヲ憇ヘ現在ニ於テ兵器ノ供給ハ南北妥協ニ格別ノ影響ナキコトヲ悟リ近來伊國力秘密ニ各省へ兵器ヲ売込ツツアルハ事実ナルヲ以テ日本ハ自分ノ苦衷ヲ諒トシテ本契約カ特別ノ事情アル理由ノ下ニ此際該兵器ヲ交付スル様上申セラレタク右受取ニ付支那南北双方ニハ異議ヲ申立テサル様自分ヨリ相当ノ方法ヲ講スヘキモ万一日本ニ於テ公然ノ引渡ヲ躊躇スルニ於テハ表面日

四八七 二月七日 在上海佐藤少佐ヨリ

上原參謀總長宛(電報)

江蘇督軍日本兵器供給ノ懇請アリタル旨多賀
大佐ヨリ陸軍大臣ニ報告シ其指示ヲ求メタル

本官憲ハ之ニ干与セサルコトトシ江蘇省沿岸例ヘハ海州ノ如キ地点ニ於テ秘密ノ裡ニ授受スルモ差支ナシトテ懇々依嘱セラレタルニ付領事トモ協議シ其筋ニ上申スヘシトテ詳

六 中国ヘノ兵器供給ニ關スル件 四八六 四八七

上海電第十一号

(二月十日參謀本部ヨリ外務省接受)

六〇五

南京多賀大佐電

陸軍大臣宛左ノ通り打電セリ御含ミヲ乞フ

四日李純ハ兵器ニ就テ左ノ要旨ヲ依頼セリ

兵器供給停止ニ就テ再三日本当局ノ意ヲ承知シタルモ此間ニ於テ浙江及參戰軍ヘ交付シ（當時事情ヲ説明セシモ尚誤解ヲ解カス）江蘇ニハ未タニ交付セサルハ如何該兵器ノ用途ハ地方人民ノ需用ナルコトハ屢々言明セシカ如クニシテ決シテ他意ナシ然ルニ二ヶ年余ヲ経テ尚交付ヲ期シ難キヲ以テ治安ヲ維持スルニ愈々困難ヲ感スルノミナラス絶エス人民ヨリ要求セラレ最早弁解ノ辞ナキニ至レリ現在伊太利兵器ハ小銃十數円彈薬百発四円現金ヲ要セス五年据置ノ借款ニテ地方ニ売込マレツツアリ現ニ河南湖南及山西省ハ該兵器ヲ買入レシト聞ク又直隸奉天モ内相談アル由ナリ予モ亦買入レノ相談ヲ受クルコト前後三回ニ及ヘリ人民ノ為ニハ之ヲ購入スルヲ利益トスルモ濫リニ契約ヲ破棄スルハ日本ニ対スル感情ヲ害スルヲ以テ伊國側ニ対シテハ終始拒絶シ來レリ此際日本當局ハ予カ苦衷ヲ諒シ特ニ交付ノ手段ヲ講セラレンコトヲ切望ス但シ予モ政府並ニ南方ヲシテ承認セシムル等国内ニ対シテハ責任ヲ以テ予メ故障ナカラシムルハ勿論ナルモ秘密ヲ要スレハ江蘇省ノ範囲内ニ於テハ如

シ難キ旨回訓ノ件

第二号

貴電第五号ニ關シ李純ノ立場ハ當方ニ於テモ之ヲ諒トセサルニ非サルモ從来迭次申進シタル通り未タ南北和義ノ曙光ヲモ見サル今日我方トシテハ支那ニ対スル友誼的公正ノ態度及右ニ關スル關係諸国トノ申合ニ照シ遺憾乍ラ直ニ応諾シ難キ次第ナリ尤モ帝國政府ニ於テモ深ク支那側ノ立場ニ同情シ可成速ニ兵器ヲ輸出シ得ル様努力スヘク從テ右ノ如キ機会到来スルニ於テハ直ニ李純ノ希望ニ副フ様取計フヘキコト勿論ナリ將又御来示ニ拠レハ李純ニ於テハ若シ日本力尚引渡ヲ肯セサレハ或ハ伊國ヨリ購入セムトスル意図ナルヤニ推セラル趣ナルモ最近伊國ヨリ支那ニ兵器輸入ノ報道伝ハルヤ伊國駐劄日英仏各國大使ヨリ同文覺書ヲ以テ

本件兵器供給問題ニ關スル關係國政府ノ申合恪守方ニ対シルコトナルノミナラス右同政府ニ対スル勸告ト共ニ場合ニ依リ却而關係國政府ニ於テモ益々既定ノ協調ヲ嚴守スルコトトナルヤモ計リ難ク旁々此際殆ト密輸入類似ノ措置ニ出

何ナル手段ヲモ採ルヘク海上ニテ受授スルモ可ナリ此際日本當局ハ右事情ト予ノ苦衷トヲ察シテ更ニ考慮ヲ煩ハサレ度シ尚至急右ニ對スル日本當局ノ意思ヲモ承知シ度シ右ハ今回尚交付ノ見込付カサレハ曰ムナク伊國兵器ヲ買入レントスル前提トモ見ラル又無期限ニ兵器ノ交付ヲ待ツハ李純トシテ堪ヘ難キ所ナルヘシ但各省力続々伊國兵器ヲ購入スル際彼ハ兎ニ角契約ヲ尊重セントスル意志アルハ認メサルヘカラサルノミナラス我将来ノ目的上此關係ヲ断タセシメ其承認ヲ声明セシメテ交付スルコトニ決定スルヲ得策ナリト思ハル他省トノ契約ニ就テハ江蘇ト事情ヲ異ニスルカ故ニ先ツ江蘇ニ対シテ交付シ其模様ニ依リ他ニ及ホスト否トヲ定ムルヲ可ト思考ス今回ハ李純ニ対シ具体的ニ回答ヲ与フル必要アリト思ハル何分ノ御返電ヲ仰ク

（北京済ミ）

四八八 二月十八日 内田外務大臣ヨリ
在南京岩村領事宛（電報）
江蘇督軍ニ契約兵器交付ハ中國ニ対スル友誼的公正ノ態度及關係諸国トノ申合ニ照シ応諾

ツルカ如キハ政府トシテ承允ヲ困難トスル所ナリ就テハ今後共本件ニ關シ何等開談ニ接シタル節ハ上記ノ事情並ニ客年往電第二四号(註)ノ次第ヲモ参酌ノ上篤ト説明ヲ与ヘラルル様致度シ尚貴電ニ依レハ貴官ニ於テ詳細日本ノ行懸ヲ承知セストノコトナルモ本件ハ久シキニ亘レル重要且機微ナル問題ニシテ委細ハ從來ノ往復電信等ニ依リ疾ク御詳悉アルヘキ筈ニ有之事國際協調ニ關聯シ单ニ李純個人ニ対シ氣ノ毒ナルノ故ヲ以テ左右セラルヘキ問題ニハ無之ニ付今後共其辯篤ト御留意相成度ク為念申添フ

北京上海ヘ郵報アリタシ

註 大正八年九月二十三日内田外務大臣在南京清野領事館事務代理宛第二四号ヲ省略セリ該電ハ大体此第一号電ト同一

趣旨ナリ

四八九 三月十一日 阿多泰平組合理事ヨリ
中國ヘノ兵器輸出差止ニ依ル損害ヲ政府ニ於テ補填方願出ノ件

御願

支那中央政府及ビ督軍ト既契約ノ兵器輸出解禁ノ義ニ付テハ大正八年十月十日附(註)以テ其當時ノ事情具陳願書提出仕

置候得共未ダ解禁ノ御許可無之誠ニ困却罷在候今日ト相成候テハ既ニ供給契約期限経過後一ヶ年以上ト相成候為メ近來其督促益々緊急ト相成其弁解ノ辞モ無之次第ニ御座候最初輸出御差止メノ御命令相受ケ候節ハ兵器局長閣下ヨリ損害額ヲ申出テヨトノ御沙汰モ有之候得共其當時ハ損害程度ノ見当モ相立チ不申又暫時ノコトト存ジ注文主ヨリ損害等ヲ要求可致コトモナカルヘシト考居候處既ニ一ヶ年余モ経過致シ候事トテ其間種々ノ支障ヲ生ジ或督軍ノ如キハ人民ノ依頼ヲ受ケ注文シタルモノナトアリテ一年後ノ今日ニテハ最早不用ト相成今後解禁アルトモ残金支出ノ途ナキヲ以テ契約破棄ヲ申込み其他代価低減ヲ主張スルモノモ有之候一方弊組合ニテハ前受金ノ利潤日々嵩ミ且契約當時ニ比シ諸物価暴騰ヨリ起ル損害又ハ競争者ニ対抗セントスル值引等モ覺悟セサルヘカラサルコトト相成可申尤モ愈実行ノ引等モ覺悟セサルヘカラサルコトト相成可申尤モ愈実行ノ直ニ輸出解禁アルモノトシテノ損害予想

摘要	要	損	害	額
督軍口 前受金七拾參万四千六百余円ノ利息	年二割四分	一七七、〇〇〇円	〇〇〇	組合預リノ分
前受金七拾參万九千余円ノ利息	年二割四分	四五、六〇〇〇〇〇	〇〇〇	組合預リノ分
" 前受金百拾四万四千余円ノ利息	年八朱	九一、五〇〇〇〇〇	〇〇〇	超過前受
荷造仕直シ費	計	二三、七〇〇〇〇〇	〇〇〇	政府ニ納金済ミノ分
内 銀行預金 元金百四拾七万參千円ニ對シテ	年四分トシテ	五八、九四〇〇〇〇	〇〇〇	超過前受
積出未済品売価千參百七拾七万余円ニ對スル値引 (少クモニ割引ト見テ)	残	三九六、五〇〇〇〇〇	〇〇〇	政府ニ納金済ミノ分
		三三七、五六〇〇〇〇	〇〇〇	差引ク
		二、七五四、〇〇〇〇〇〇	〇〇〇	

破約ノ場合ニ於ケル損害予想

摘要	要	損害額
暗扣 既ニ支払ヒタル分		一八八、二一〇〇〇〇
荷造費		二三七、三八〇〇〇〇

以上

場合ハ如何ナル程度ノ損害ト相成可申哉相分り不申候得共今後輸出解禁ノ暁ニハ必ス之等諸種ノ損害又ハ難問題続出可致ト存候ニ付其場合ハ政府ニ於テ之等ニ対スル損害御負担被成下候様子メ御願申上置候別紙ハ今日迄注文主ヨリ申出居候条件等ヲ酌量シ現在ニ於ケル損害ヲ予測取調致シ候モノニ有之為御参考添附仕候

陸軍大臣 田中 義一殿
註 右文書冒頭ニ援用ノ十月十日附願書ニ付テハ大正八年日本外交文書第一冊上巻四五三頁第四三九文書參看
(別紙) 中国ヘノ兵器輸出差止ニ依ル損害予想

敬具

大正九年三月十一日

泰平組合理事 阿多 広介

ハ最早不用ト相成今後解禁アルトモ残金支出ノ途ナキヲ以テ契約破棄ヲ申込み其他代価低減ヲ主張スルモノモ有之候一方弊組合ニテハ前受金ノ利潤日々嵩ミ且契約當時ニ比シ諸物価暴騰ヨリ起ル損害又ハ競争者ニ対抗セントスル值引等モ覺悟セサルヘカラサルコトト相成可申尤モ愈実行ノ

六 中国ヘノ兵器供給ニ閑スル件 四九〇

六一〇

組合予定手数料	二三七、三八九 ○○○
積出未済品価格原価	一一、八六九、四九二 ○○○

以 上

四九〇 五月十六日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

伊国兵器ノ長江方面輸送ニ付内密調査方訓令

ノ件

附記 伊国兵器奉天地方へ輸入ノ報道

第二七一号

泰平組合ヨリノ情報ニ依レバ伊太利側ニ於テ曩ニ陸揚ノ儘保管シ居リタル同國兵器ノ一部ヲ最近ニ至リ陸軍部ニ於テ執照ハ出サザルモ長江方面各地ヘ私ニ輸送シ軍憲ニ引渡セリトノ事ナルガ右ニ閑シ貴官ニ於テ何等御聞込ノ次第アリヤ内密ノ調査ノ上何分ノ義返電アリタシ

右本大臣訓令トシテ天津上海南京漢口ヘ転電アリタシ

(附記) 伊国兵器奉天地方へ輸入ノ報道ニ閑スル調書(大正九年政務局調)

(一) 大正八年十一月上旬小幡公使ヨリ当時伊太利ヨリ多量ノ軍器ヲ秦皇島ニ輸入シ奉天山海關天津及北京へ輸送シ北京ヘノ分ハ伊国公使館宛ニテ輸入セラレタルモノノ由ナル旨電報ニ接シタルカ其ノ後同公使ヨリノ來電ニ拠レハ在支那伊国代理公使ハ伊国軍器輸入ノコトヲ肯定シ現ニ山海關天津及北京ニ於テ保管セラレ居ルモ其ノ処分方ニ付テハ何等承知セサル旨ヲ答ヘタル趣ニテ一方奉天ニ輸入セラレタリト称スル兵器ノ確否ニ閑シ在奉天赤塚總領事ノ内偵セル所ニ拠レハ右兵器カ張作霖ノ手ニ入リシ模様ハ無キモ十一月上旬秦皇島ニ陸揚セラレタル伊太利兵器中約二万噸奉天ニ輸送セラレ右ハ飛行機ノ解体セラレタルモノニシテ其ノ後朝鮮新義州ニ輸送シタリト謂フ

(二) 同年十二月中旬在奉天赤塚總領事來電ニ拠レハ在北京奉天軍司令部ハ天津ノ某商人カ伊太利ヨリ輸入セル独逸式

「モーゼル」拳銃一千五百挺及弾丸三十萬発ヲ陸揚ケ天津ニ於テ二挺(弾丸二百発附)ニ付銀二百元ノ割ニテ買取りタルカ張作霖ハ督軍署副官ヲ之カ請取ノ為メ派遣シ現品ノ検査ヲ終ヘ數日中ニ京奉線ニ積込み着奉スヘク且右ノ拳銃ハ奉天陸軍用ノミナラス吉黑兩省ニモ分配スルモノナル由ノ電報ニ接シタルコトアリ但シ本件ニ於テハ其後詳報ニ接セス

(三) 客年十二月伊国駐劄日英仏三国大使カ本件伊太利兵器輸入ノ報道ニ閑シ伊国政府ノ注意ヲ喚起スルニ當リ英國大使ハ日仏兩國大使ニ對シ協同措置方ヲ提言シタルカ當時英國大使ノ日本大使ニ手交セル覺書ニ「伊国運送船カ最近多量ノ兵器ヲ秦皇島ニ陸揚ケセル」旨ノ報道ヲ指摘シ且「右軍器ノ一部分ハ猶ホ秦皇島ニ留置セラレ他ノ一部分ハ天津及北京ノ伊國守備隊ヘ輸送セラレタルモ之ト同時ニ其ノ一部分ハ奉天保定府其ノ他ノ支那陸軍官憲ヘ數台ノ貨車ニ積載シ發送セラレタルモノノ如キ」旨ヲ記載セリ

即之ヲ要スルニ問題ノ伊太利兵器カ現実ニ支那側ニ授受ヲ了シタリヤ否ヤハ明確ナラスト雖モ這般報道ハ各方面ヨリ

頻々伝ヘラレタル所ニシテ現ニ前項所述ノ通り十一月十二シ發送セラレタルモノノ如キ」旨ヲ記載セリ

四九一 五月十七日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛(電報)

伊国ヨリ輸入ノ兵器ハ天津及山海關ニ嚴重保

管中ナル旨伊国代理公使確言ノ件

第四三六号

貴電第二七一号ニ閑シテハ去ル十五日伊国代理公使態々本使ヲ來訪シ曩ニ伊国ヨリ輸入ノ兵器ハ天津及山海關ニ於テ嚴重保管中ナルカ故ニ他ニ密送セラルルカ如キコト断シテ無之ト確言シタル同代理公使ハ東少將ニ對シテモ同様ノ説明ヲ為シタル由或ハ何等カノ風説アル際故ニ特ニ打消ノ為來談セルモノカトモ察セラル内偵ヲ試ミタル上結果報告ニ及フヘキモ不取敢

四九二 五月二十七日 在天津船津總領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

伊国兵器長江方面各地へ輸送セラレタリトノ件

六 中國ヘノ兵器供給ニ關スル件 四九三

第八六号

外務大臣発在支公使宛電報第二七一號ニ閔シ當館諜報者ノ
内偵シタル処ニ拠レハ目下伊国兵器ノ存置セラルハ天津
漢口、山海関及北京等ノ趣ナルガ当地ニ於ケル該兵器ニ付
テハ未タ支那側ニ引渡サレタル形迹ナシ本月二十日附機密
第五七号拙信ヲ以テ報告シタル湖南督軍張敬堯ノ參謀係某
ヨリ出テタル情報ニ拠レバ旧曆三月三日頃漢口兵器廠ニ存
置セル支那製歩兵銃五千挺ヲ陸軍部ヨリ張敬堯ニ引渡シタ
リトノコトナルガ伊国兵器引渡説ハ或ハ此ノ誤伝ニアラザ
ルカトモ思ハル尚当地ニ於テ伊国側ト支那側トノ間ニ成立
セル兵器購買契約ハ張湖南督軍小銃一万挺及奉天督軍張作
霖五千挺ナル趣ナリ尚引続キ精探中ナルモ右不取敢

四九三 六月十七日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣便（電報）
泰平公司ノ湖南省ニ対スル兵器契約ノ不履行
ニ伴フ手附金返還要求ニ応ジ可然旨稟申ノ件

附記 中国政府壳約兵器代金ニ関スル調

第五五八号

支那政府壳約兵器代金ニ関スル調

茅蘋未湧，其器仙權。（明控及暗控之合）

上記代金収入済額ノ内ヨリ明控、及暗控合計一、四二八、五三一円ヲ払戻シタル故組合ノ實際入金シタルハ二、七四五、二三四円〇六ナリ

支那行払下兵器代金ニ関スル調査表

六二

泰平公司が湖南省ニ对于昨年一月軍器契約ノ當時既ニ代價

三分ノ二即チ日貨五十三万円余手附トシテ払込済ナル趣ノ
處昨年秋契約ノ実行ヲ同省ノ代表張堯卿ヨリ当方へ嚴重交
渉シ來リ當時當館ニ於テ可然應答シ爾來其ノ儘打過キ來リ
タルカ今回同代表ヨリ突然更ニ公文ヲ以テ本使ニ對シ支那
和平成立ハ何時ナルヤモ計リ難キモ此ノ上不得要領ニ遲延
スルヲ許サス就テハ至急軍器ヲ引渡サルルカ手附金返還セ
ラルニアラサレハ已ムヲ得ス法ニ照シ起訴スルノ外ナキ
旨申越アリタリ然ルニ本件ハ和平統一モ差當リ其ノ見込ナ
ク列國トノ申合セ上兵器輸入中止モ當分解除ノ時機来ルヘ
シトモ思ハレス又南北統一後ト雖モ既ニ督軍廢止裁兵實行
ノ說モアリ兵器ニ対スル需要狀況ハ締約當時トハ自ラ異リ
來ルヘキカトモ存セラレ旁々本件ハ日本商人ノ信用ニモ闕
スル次第ニ付此ノ際右手附ヲ返還スルコト至急ナラムト思
考ス篤ト御考慮ヲ請フ若シ又右様御都合付キ兼ヌルニ於テ
ハ先方ヲシテ承服セシムルニ足ルヘキ弁明振リ御電示ヲ請

九五九年六月二十八日

(附) 語 中国 政府 売 級 兵 器 付 金 二 關 九 準 (寫)

什金收刀湯
害房沙外川明控及暗控不言止

内ヨリ明控、及暗控合計一、
一五、四九〇、二四六三七〇 円

五
三
四
五
六

代金收入済額

中央政府

元亨利貞

一七四、八三九四三〇 納金洛
一五、五四五〇〇 内金齋

一六五、四三三三三〇

但シ納金未
一、八九九、六二三七八〇

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 四九二

四九四 六月十八日

東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
福田參謀次長宛(電報)

泰平公司ノ兵器契約不履行ニ関シ湖南省督軍

ヨリ公式抗議ニ付善処方稟請ノ件

支第四六八号(六月二十三日參謀本部ヨリ外務省写接受)

湖南ノ事變ニ際シ督軍張敬堯カ我契約兵器ノ速給ヲ浜本大尉ニ要求セシコトハ既ニ御承知ノ事ト存スルモ一昨日北京ニアル同省督軍ノ代表ヨリ小幡公使、小官及泰平公司ニ對

シ公式ニ抗議ヲ申込ミ我契約違反ヲ詰リ速ニ兵器ヲ引渡スカ然ラサレハ手付金ヲ返スカ二者其一ヲ実施セラレ度シ若

然ラサルニ於テハ之ヲ營業法ニ照ラシテ告訴シ各國ノ批評ヲ待ツヘキ旨申シ來レリ當テニモナラヌ南北統一ヲ夢見テ

我信用ヲ此上ニ失フヨリハ最早ヤ此辺ニテ見切ヲ付ケ思ヒ切テ兵器輸出解禁ヲ決行セラルカ若シクハ潔ク手付金ヲ返スカ二者ノ外方法ナカルヘシ御一考ヲ乞フ

公使ヨリモ別ニ外務省宛電報セラル筆

抗議書ハ筆記送付ス尚伊太利トノ契約兵器ニ対スル支那側ノ態度ニ關シ伊太利公使ニ尋ねタルニ同公使モ十日許リ以

前ヨリ切リニ督促ヲ受ケ返事ニ困リ居ル由此際日伊両国相

(附記一)

千九百二十年七月十二日附首席公使回章第一

一号和訳文

首席公使ハ各同僚ニ向ツテ敬意ヲ表シ茲ニ新聞紙ノ報シタル武器供給ノ風評ニ關シテ伊国公使ヨリ受領シタル書翰並ニ附屬書ノ写ヲ送附スルノ光榮ヲ有ス

(写)

千九百二十年七月十一日伊国公使ヨリ首席公

使ニ宛テタル書翰

可セサルヘク又必要ニ応シテハ今回ノ件ニ関スル責任者ノ处分方取計フヘキ事ヲ留保致候 敬具

伊国公使來翰附屬書寫

伊国製武器彈薬供給ノ件ニ關シ北京ノ一新聞カ得タル報道ニ就キ伊太利國公使館ヨリ左ノ通知ニ接セリ

一 伊国公使館ハ曩ニ締結セラレタル協約ニ対シ既ニ留保ヲナシ置キタルヲ以テ伊国政府カ數月以前ニ支那ニ向ツテ武器ノ供給ヲナササル旨ヲ約シタリト云フ報道ハ事實ナラス

二 然ルニモ係ラス該協約ノ目的物トナリタル軍需品中現今ニ至ルマテ供給ヲナシタルモノハ皆無ナリ何ントナレハ伊国官憲ハ極力カカル供給品ヲ送リ還スコトニ努力シ居タレハナリ

三 目下ノ処或ル筋ヨリ要急ノ請求ヲ受ケタルヲ以テ該材料ノ保管者側ニ於テ自ラ責任ヲ負ヒテ其ノ比較的少量ナル部分ヲ首府ノ防禦ニ当レル軍隊ニ渡スヲ適宜ノ処置ト認メタリ

四 引渡シタル武器彈薬中ニハ砲及飛行機用爆弾ナシ

協力シテ将来ノ為メノ方針ヲ確定セラルノ要アリト認ム

四九五 七月十七日

在中國小隣公使ヨリ
内田外務大臣宛

对中国武器供給ニ関スル伊国公使弁明ニ付首

席公使回章写送付ノ件

附記一 七月十二日附首席公使回章第一一二号和訳文

二 七月十二日附首席公使回章第一二三号和訳文

(七月二十日接受) 機密第二九五号

大正九年七月十七日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉(印)

外務大臣子爵 内田 康哉殿

関係電報
往電第七二号伊国武器供給ニ關シ伊国公使弁明ノ件
本信写送附先 天津甲号 七月十二日附首席公使回章第一一二号写
乙号 七月十二日附首席公使回章第一二三号写
註 右甲号及乙号ノ二回章原文ヲ省略ス

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 四九六

六一六

千九百二十年七月十二日附首席公使回章第一一三号
和訳文

首席公使ハ同僚各位ニ向ツテ敬意ヲ表シ左ニ伊国公使來翰
ノ写ヲ送附スルノ光榮ヲ有ス

千九百二十年七月十二日伊国公使ヨリ首席公使ニ宛
テタル書翰写

以書翰致啓上候陳者本日御転送相成候曹鋐將軍ノ來翰正ニ
受領致候該書翰ニ於テ最近ノ伊国製武器彈薬供給ノ件ニ関

シテ挙ヶラレタル事実一部分全クノ虚報他ノ一部分ハ頗ル
誇張シタルモノナルコトヲ確認致候

本使カ最近取調ヘタル結果ニ依レハ伊国人ノ引渡シタル武
器彈薬中ニハ曹鋐將軍ノ云ハルルカ如キ「六、〇〇〇、〇
〇〇」発ノ弾薬モ亦「野砲二門」モ存在セサリシ事ハ最早

疑フ余地ナキ事実ニ有之候且南苑ノ陣營中或ハ其他ニ於テ
段祺瑞將軍ノ部下又ハ他ノ支那軍側ニ伊国ノ飛行將校活動
セリト云フハ事実無根ニ有之候

前述伊国人ノ供給シタルハ散兵濠用迫撃砲弾数百発及同迫
撃砲二門ニ過キシテ斯ノ如キ武器彈薬ハ目下ノ狀況上実
地ノ使用ニ適セサル底ノ物ニ有之候

此ノ遺憾ナル事件ノ出来ニ関シテ或ル種ノ流説行ハレツツ

アルヲ以テ本使ハ此ノ機ニ於テ閣下ニ向ツテ伊国政府並ニ
當公使館ハ支那ヲ分裂スル旨下ノ内乱ニ対シテハ其ノ嚴正
中立ノ態度ヲ離ルルノ意図毫モ無之事ヲ保証致候

依ツテ再ヒ本書ヲ各外交代表者間ニ回章トシテ転送相成度
此段御依頼ニ及候尚閣下ニ於テ曹鋐將軍ニ回答スルヲ適當
ト認メラレ候時ハ該回答書ニ本書ヲ御添附相成様致度候

伊国公使「デュラツツオ」 敬具

四九六 九月十一日 在中国小幡公使ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

中国へノ兵器輸入禁止取極励行方伊国政府へ

交渉ニ関シ日英米仏四國公使会議開催ノ件

第九五八号

兵器輸入禁止問題ニ関シ米国公使及英國代理公使ノ請求ニ
依リ来ル十三日仏國公使館ニ日英米仏四國公使会議ヲ開催
スヘキ旨仏國公使ヨリ通知ニ接シタルニ付十一日本使別用
ニテ英國代理公使ニ面会ノ序ヲ以テ其趣旨ヲ尋不タルニ右
ハ伊太利側ニ於テ節度ナク兵器輸入ヲ敢テシ居ル事実アル

為メ米国公使カ米国商人等ヨリ迫ラレ苦シキ立場ニアルヨ
リ本件取極励行方ヲ協議セントノ申出アリ英國側ニテモ既
存契約ニ基キ広東ニ來著シ居ルモノアルモ之亦引渡ヲ禁シ
居ル次第モアリ兎ニ角他國側誠実ニ行動シ居ルニ係ラス伊
太利ノミカ之ニ微ハサルハ不都合ニ付右米国公使ノ提議ニ
同感ヲ表シ此際四國公使ヨリ各本国政府ニ同文電報ヲ發シ
該取極ノ勵行兵器輸入ノ取締方ヲ四國在伊大使ヨリ伊国政
府ニ交渉スル様稟請スルコトニ付協議セント欲スル次第ナ
リトノコトナリシニ付本使モ主義上同感ヲ表シ帝國政府ニ
於テモ該取極励行ニ資スヘキ行動ヲ執ルコトニハ異存ナカ
ルヘシト信スル旨答ヘ置キタリ不取敢
在天津上海廣東總領事ヘ郵送セリ

四九七 九月十二日

内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

中国へノ兵器輸入禁止取極ニ列国商人ノ違反

二対スル措置ニ付訓令ノ件

第五一五号(至急)

貴電第九五八号ニ關シ最近政變ノ際ニ於ケル英國輸入飛行
機ノ軍事使用及米國側ノ自動車及銃器引渡ノ情報殊ニ伊國
機ノ軍事使用及米國側ノ自動車及銃器引渡ノ情報殊ニ伊國

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 四九七

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 四九八

六一八

タルモ单ニ抗議ニ止マリ事實上其ノ過去ノ違反行為ヲ宥恕シタルト同一ノ結果トナレリ今回モ亦抗議ヲ提出スルトモ恐ラク同一ノ結果ニ終ルヘシ果シテ然ラハ取極ニ反シ「リスク」ヲ犯ス商人ノミ利益シ之ヲ厳守セル商人ハ却テ既定契約ニ基キ引渡ヲ催促セラレ終ニ多大ノ損害賠償ノ責ニ任せサルヘカラサル羽目トナリ而モ何等ノ救済ヲ受ケサルコトトナルヘクスクリテハ此ノ上禁止ヲ強制スルコト實際上不可能ナリ此ノ際右ノ如キ不公平ヲ匡正スル實際的手段ヲ講スル必要アルコトヲ主張シ他ノ列國ノ意向ヲ此ノ機ヲ利用シテ探ラレタク將又米國公使ノ提議ニハ主義上異存ナキモ單ニ抗議ニ止マリ具体的救済方法ヲ伴ハサルモノナルニ於テハ一応本国政府ニ請訓ノ要アリトシテ決議參加ヲ留保シ置カレタシ

四九八 九月十三日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国ヘノ兵器輸入禁止問題ニ關スル九月十三

日ノ四国公使會議ノ模様報告並次回ノ會議ニ

於テ我方ノ執ルベキ態度ニ付稟申ノ件

第九六五号 至急

軍用ニ供セラレ居ルヲ知ルヤ否ヤ直ニ本国政府ニ電稟スルト同時ニ關係技術者全部ニ對シ飛行ニ從事スルヲ嚴禁シ同時ニ之ニ違反スル様ノ場合ニハ将来ノ引渡ヲ禁止セサルヲ得サル旨ヲ嚴達シタル次第ヲ(右ハ事實ナルモノノ如シ)弁シ又米國公使ハ今次ノ動亂當時一米國商ヨリ支那側ノ個人ニ自動車ヲ売渡シタルコトハ之アルモ武器ヲ供給シタルノ事實ナシト述ヘ尚飛行機ニ關シ本使トノ往復(往電第八八五号及第九四八号)ニモ言及シ英國代理公使ト共ニ自国民ニ対シ嚴重取締ヲ行ヒ居ルコト又自分等モ彼等ヨリ解禁方ヲ迫ラレ当惑シ居ル事實ヲ語リ然モ各公使何レモ今日ノ情勢ニ鑑ミ本件取極引続キ励行ヲ緩ムルヲ不可トスルニ一致シ種々協議ノ末結局本使ノ陳述中御訓示ノ如ク伊國政府ニ對スル警告ノ實行ヲ疑フ一節アリタルニ關聯シ此際伊國政府ニ警告スルハ第二ノ問題トシ先ツ以テ四国公使各別ニ伊太利公使ニ對シ本件伊太利兵器輸入事件ニ關スル説明ヲ求メ其返事如何ニ依リ更ニ四国公使ノ執ルヘキ手段ニ付協議スルコトトン前電予報ノ如キ同文電稟ノ議ハ次回ノ協議ニ讓ルコトトナリタリ

十三日會議ノ模様ハ以上ノ如クナルカ伊太利公使ヨリ四国公使ノ滿足スルカ如キ回答ニ接スルコトハ先ツ先ツ望ミ難カルヘク紛局前電予報ノ如キ同文電稟ヲナスノ案ニ立チ返り来ルヘキカト存セラルル処卑見ニ依レハ前述ノ如ク此際如何ニモ不評判ナル伊太利ノ違約事件ニ關聯セル本件協議ノ機會ニ我方ヨリ本件取極励行ヲ幾何ニテモ緩ムル趣旨ノ提議ヲ持出スハ甚タ其時機ヲ得サル虞アリ折角昨年來我側ノ苦心ニ依リ外國側ヲシテ我取締ノ誠意ヲ認メシムルニ至リタルニ顧ミ甚タ不得策ト存セラレ一面南北妥協モ未タ結末ニ至ラス他國公使ノ意向モ各自ノ不便ト所属商人ノ利益ヲ忍ヒテモ一層取締ヲ励行セントスルニアルコト故本件提議ハ今少シ適當ノ時機ヲ俟ツコトトシ今回ハ更ニ一回丈三国ト協調ヲ繼續スルコト致シタシ且英米側ノ遣リロニ對スル情報ニ對シ既ニ英國代理公使ニ於テ之ニ對スル処分ヲ報告シ米國公使ニ於テハ該情報ヲ否認シ居ル以上之ヲ藉リテ我主張ヲ支持スルニハ根拠薄弱ノ嫌アリ尚本使ノ曩ニ英國代理公使ニ對シナシタル所言ノ手前モ之アルニ付前述ノ如ク若シ事態再ヒ共同警告問題ニ立返リ来ル節ハ今回ハ本使ニ於テモ同文電稟ニ参加スルト同時ニ其際本使ヨリ該共同警告カ如何ナル程度迄実効ヲ奏スヘキカ甚タ疑ハシキ

ニ付暫ク其結果如何ヲ見タル上ニテ依然伊太利側ニテ從來ノ態度ヲ変セサルニ於テハ日本ニ於テモ自國商人乃至支那側ニ対スル立場上取極前ノ既約品ノミニ限リテハ或ハ其引渡ヲ許ササルヲ得サルニ立至ルヤモ計リ難キ旨附言シ置クコトト致シタシ右ニ御異存アラハ至急何分ノ儀御電示ヲ請フ

四九九 九月十七日 内田外務大臣ヨリ
在中国小幡公使宛（電報）

中國ノ兵器輸入禁止問題ニ關スル四國公使会

議ニ於テ日本政府ノ立場ヲ闡明方訓令ノ件

第五二六号 至急

貴電第九六五号ニ關シ本問題ニ關スル既往ノ行懸ニ顧ミ貴官ニ於テ出来得ル限り他關係国側ト協調ノ態度ニ出ツルヲ得策トセラルハ諒トスル次第ナルモ過去ニ於ケル違約行為ニ対シ單ニ警告ヲ与フルニ過キシテ只将来ノ結束ヲ厳密ナラシメムトスル趣旨ニ過キサルニ於テハ結局過去ノ事ハ致方無シトテ之ヲ宥恕スルト同一ノ結果ニ終リ恁クテハ真面目ニ取極ヲ嚴守セル商人ノミ長ク痛苦ヲ忍ハサルヲ得シテ寔ニ不衡平ノ甚シキモノト謂ハサルヘカラサル次第ニ付伊太利側ニ対シ再応嚴重ナル抗議ヲ与フルニ付テハ我アルモ南北和平確立ノ上ニ非ザレバ實行ノ意無ク又搭載ノ銃砲ハ船ト離シテ取引スル意無シトノコトニモアリ旁々以テ前議ニ立帰リ各公使ヨリ夫々本国政府ニ對シ伊国政府ヘ申入レ方ヲ電稟スルコトシ度旨申出他ノ各公使ニ於テモ異存無カリシニ付徳川ハ貴電第五二六号ノ次第モアリ本使ニ於テ右ノ如キ申入ヲ為ストモ其ノ効果如何アルベキカヲ憂慮シ居ルハ前回本使ヨリ十分開陳アリタル通リナリトテ尚一応日本商人等立場等ヲモ説明シタル上去リ乍ラ右同文電稟参加ノ儀本使ニ於テモ多分異存ナカルベシト信ズル旨ヲ述べ置キタル趣ニテ其結果該電稟文案ハ仏国公使ニ於テ起案ノ上回覧ニ附スルコトニ決定セリ尚仏国公使ハ伊国公使ハ山海閣及ビ天津等ニ來リ居ル同国兵器ノ数量甚ダ大ナルコトヲ確認シ曩ニ誤リテ引渡ヲ了シタル分ハ其内ノ一少

方トシテモ主義上異存アルニ非サルモ同時ニ現実不公平ナル結果ヲ匡正スルカ為何等實際的手段ヲ講スルニ非サレハ此際我商人ニ於テ絶対不得已シテ直接支那側トノ間ニ何等カノ解決ヲ敢行セムトスルカ如キコトアルモ帝国政府ノ立場トシテ此ノ上之力嚴遏ノ方途ヲ巡ラスコト不可能ナル次第ヲ此機会ニ於テ各關係国側ニ印象セシメ置クコト得策ナリト認メラルニ就テハ予テ「ヴィカース」飛行機借款問題ニ關聯シ本件ニ付在本邦英國大使ト談合ヲ重ネ來レル行懸アルヲ幸ヒ此際既定方針ニ基キ当地ニ於テモ同大使ト交渉ヲ試ミルコトスヘキニ付貴地ニ於テモ各關係国公使ニ於テ伊国公使ト會見ノ結果再応公使會議開催セラレタル場合ニ貴官ニ於テ最後ニ御来示ノ如キ同文電稟ニ參加セラルハ致方無キモ我方ニ於テ今後ニ於ケル本件処理方ニ関スル余地ヲ存スル為メ同會議ニ於テ本電ノ趣旨ニ基キ帝国政府ノ立場ヲ明ニシ置カレタシ

五〇〇 九月二十一日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

四國公使會議ニ於テ中國へノ兵器輸入禁止問題ニ關シ伊国政府へ申入ル様四國公使ヨリ

各本国政府へ稟申スルコトニ決定ノ件

第一〇〇二号

貴電第五二六号ニ關シ九月二十一日日英米仏四國公使會議ノ際（本使代理トシテ徳川出席）仏国公使ヨリ伊国公使ニ面会問合セタル處上海ニ於ケル兵器売込云々ノ報道ハ事實ニ非ズ Submarine Chasers ハ元来売扱ノ目的ニテ持來リ

アルモ南北和平確立ノ上ニ非ザレバ實行ノ意無ク又搭載ノ銃砲ハ船ト離シテ取引スル意無シトノコトニモアリ旁々以テ前議ニ立帰リ各公使ヨリ夫々本国政府ニ對シ伊国政府ヘ

申入ル様四國公使ヨリ各本国政府宛電稟案
報告ノ件

第一〇〇八号

往電第一〇〇二号ニ關シ仏国公使起案ノ同文電稟左ノ通り伊国公使ノ声明ニ依ルモ支那市場宛伊国兵器及び軍需品等余程ノ分量山海閣ニ溜リ居リ其売渡シハ停止サレ居ルモ全然同公使館ノ裁量ニ依リ當國政情ノ充分差支ナシト認メタル場合ニハ之ヲ許可スル事アル可キ趣ノ處一面上海ニ於ケル伊支兩国人間ノ取引ハ外國側ヲ驚カシ右ニ關シテハ世上ノ見解ニ對シ伊国官憲ニ於テ公式ノ否認ヲモ必要トスルニ至レリ然シ乍ラ右声明及ビ否認ハ共ニ将来ニ対スル充分ナ

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 五〇一

六二三

ル保証ヲ含マザルニ付今ヤ各自國ノ在伊大使ヲシテ伊國政

府ニ交渉セシメ一年前 *Sforza* 伯ヨリ日英米仏代表者ニ對

シテ為サレタル保証ヲ更ニ公然与ヘラレン事ヲ求ムルノ措

置ニ出デシムルコト並ニ支那ニ対スル兵器及軍需品ノ売込

ミ停止ヲ一般ニ解除ス可キ時期ニ付テモ公然列国共同ノ決

定ニ從ハシムル様スルコト必要ト認メラル若シスル保証無

キニ於テハ關係諸國ハ各自國人ヲシテ引続キ伊國人ニ比シ

不利益ナル地位ニ立タシムル事不可能ナルニ至ル可シ英仏

米同僚モ又各本国政府ニ對シ右同様電報致シ居レリ（以上

同文電票）

就テハ在伊大使ヘ訓令方然ル可ク御取計相成度結果本使參

考迄電報ヲ乞フ

註

一年前ノ「スフォルツア」伯ノ保証トアルハ大正八年八月

二十五日在伊今井代理大使発内田外務大臣宛電報第一三一

号ニテ「政務局長代理ノ請ニ依リ二十五日往訪シタル處支

那ニ兵器輸入ニ關シテハ伊國ハ列強ト歩調フニシ南北平

和成立スル迄ハ過去契約ノ分ヲモ含ミ一切輸入セザルベキ

旨」ヲ言明シタルコトヲ報告セルニ該當スルモノト推セラ

ル

第八四号

最近伊太利側ニ於テハ支那ノ動乱ニ乘シ兵器輸入取締ニ閑

スル列国間ノ取極ニ背キ節度ナク武器ノ輸入ヲ敢テシ又ハ

セムトシタル事実アリタルカ竟ニ今般米國公使ノ提議ニ依リ伊

國政府ニ對シ抗議ヲ提出セムカ為メ日英米仏四國公使會議

ヲ開キ一応伊國公使ヨリノ弁明ヲ求メタル結果右四國各公

使ヨリ各本国政府ニ向テ別電本大臣宛在支公使來電一〇〇

八号ノ通リ同文電票ヲ為スコトナリタリ

帝國政府ニ於テハ右米國公使ノ提議ノ如キ方法ニ出ツルモ

畢竟伊太利側過去ノ不信ヲ寛恕スルノ結果ニ終リ協定ヲ守

別 電

同日内田外務大臣發在伊國落合大使宛第八五号

右共同抗議方ヲ在中国日英米仏公使ヨリ各本国

政府へ稟請ノ電報

対シ在伊英米仏公使トノ打合セ共同抗議スル

様訓令ノ件

五〇二 九月二十九日 内田外務大臣ヨリ 在伊國落合大使宛（電報）

中國ヘノ武器輸入禁止取極違反ノ伊國政府ニ

別電 同日内田外務大臣發在伊國落合大使宛第八五号

右共同抗議方ヲ在中国日英米仏公使ヨリ各本国

政府へ稟請ノ電報

レル關係國商人独リ損害ヲ蒙リ著シキ不公平平ヲ生スルコト

トナルコト前例ニ微シテ明ニシテ殊ニ最近米國側商人ノ軍用自動車及機関銃壳込ニ付兔角ノ風評モアリ又英國側トハ

從来其飛行機輸入問題ニ關シ交渉ノ行懸リモアリタルニ付

此機會ニ於テ列國間取極以前契約済ノ分ニ付テハ内乱ノ用

ニ供セラレサル様適當ノ措置ヲ執ルコトトシテ断然一旦支

那側ニ交付スルコトトシ度所存ニテ實ハ米國公使提議ニ先

チ右ノ如キ措置ニ出テントシタル矢先該提議ニ接シタルヲ

以テ今一応關係國間ノ協調ヲ重ンシテ前記同文電票ニ参加

セシムルコトトシ同時ニ在支帝國公使ヲシテ關係各公使ニ

對シ從來帝國政府カ本取極ヲ誠実ニ恪守シ來レル結果當業

者ニ対シテ此ノ上之ヲ抑制スルコト甚シク困難ナルヲ以テ

帝國政府トシテモ當業者カ其危險ニ於テ何等解決ノ方法ヲ

敢行スルカ如キコトアルモ之カ嚴退ハ不可能ナルヘキ旨ヲ

開陳セシメ置キタル次第ナリ

就テハ貴官ハ前記ノ次第御含置ノ上貴地關係國大使ト打合

セ伊國政府ニ對シ共同抗議ヲ提出シ同時ニ将来ニ對スル

政府ノ保障ヲ取付クル様別電ノ趣旨ニ則リ可然御取計相成

度ク尚右仮文原案ハ貴官御参考迄ニ貴地仮國大使ヨリ貰受

註 本電ニ對スル落合大使ノ回電内容ニ就イテハ後掲十月二十一
五日内田外務大臣發小幡公使宛第六〇二号電報参照

別 電

九月二十九日内田外務大臣發在伊國落合大使宛電報第八五号

中國ヘノ武器輸入禁止取極嚴守方伊國政府ヘ申入ニ關シ在中国

日英米仏公使ヨリ各本国政府へ稟請ノ電報

別電第八五号

第一〇〇八号

帝國公使起案ノ同文電票左ノ通り

四國公使館ハ最近ニ於ケル伊國側ノ行動ニ付憂慮シ居ル処

伊國公使ノ声明ニ依ルモ支那市場宛伊國兵器及ビ軍需品等

余程ノ分量山海閥ニ溜リ居リ其壳渡シハ停止サレ居ルモ全

然同公使館ノ裁量ニ依リ當國政情ノ充分差支ナシト認メタ

ル場合ニハ之ヲ許可スル事アル可キ趣ノ處一面上海ニ於ケ

ル伊支兩國人間ノ取引ハ外國側ヲ驚カシ右ニ關シテハ世上

ノ見解ニ對シ伊國官憲ニ於テ公式ノ否認ヲモ必要トスルニ

至レリ然シ乍ラ右声明及ビ否認ハ共ニ将来ニ對スル充分ナ

ル保証ヲ含マザルニ付今ヤ各自國ノ在伊大使ヲシテ伊國政

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇三 五〇四

六一四

シテ為サレタル保証ヲ更ニ公然与ヘラレン事ヲ求ムルノ措置ニ出デシムルコト並ニ支那ニ対スル兵器及軍需品ノ売込ミ停止ヲ一般ニ解除ス可キ時期ニ付テモ公然列国共同ノ決定ニ從ハシムル様スルコト必要ト認メラル若シ斯ル保証無キニ於テハ他関係諸国政府カ各自由行動ヲ採ルモ正当ナリト思惟スルニ至ルベキヲ恐ル英仏米同僚モ又各本国政府ニ對シ右同様電報致シ居レリ（以上同文電稿）

註 本電ガ前掲九月二十二日小幡公使発外務大臣宛第一〇〇八号ト若干ノ差異アルハ九月二十三日小幡公使発第一〇一一号ヲ以テ報告セラレタル通り九月二十三日ノ四國公使會議ニ於テ電稟案ノ一部修正アリタル為ナリ

五〇三 十月十八日 内田外務大臣ヨリ 在伊國落合大使宛（電報）

对中国武器禁輸取極違反ニ付伊国政府ニ対シ
四国共同抗議促進方指示ノ件

第九一号

往電第八四号ニ関シ其後貴地関係国大使ヨリ伊国政府ニ対シ何等開談ニ及ハサル次第ナリヤ元來本件米国ノ提議ニ基キタル次第ニモ有之旁々場合ニ拠ッテハ米国大使ニ御訊不ノ上同大使ヲ通シ他関係国大使ノ議ヲ纏メ時機ヲ失セサル

側ノ受ケタル非難ノ風説ヲ牴能ク糊塗シ去レルモノト謂ハサルヘカラサル次第ナル処御承知ノ通り他国側ニ於テハ

協定ノ尚嚴然トシテ存在スルニ不拘屢次密輸入ヲ為シ而シテ我方ニ於テハ引続輸出ヲ禁止シ居ル次第ニテ右ノ如キ事体ハ此上殆ト我方ノ忍耐シ難キ所ナリ旁々往電第五二六号後段在本邦英國大使トノ間ニ交渉ヲ開始センカトモ考慮シツツアル次第ニ付貴官ニ於テモ篤ト右ノ事情御含ノ上米國公使ヲ初メ他関係国公使ニ対シ前記在伊大使來電ヲ指摘シ本件カ未タ何等具体的促進ヲ見サルコトニ関シ各國公使ノ説明ヲ求メラレ結果電報アリタン

註 内田外務大臣十月十八日發第五九二号省略セリ右ハ英米仏公使ノ対伊共同抗議ノ稟請ニ對シ本國政府ハ承認ヲ与ヘタリヤ確メ方ヲ訓令セルモノナリ

五〇五 十月三十日 在天津船津總領事ヨリ 在内田外務大臣宛

中国側ヘ引渡方差止中ノ銃器ニ関スル件
(十一月四日接受)

機密第一五六号

在天津

裡本件ノ促進ヲ計ル様可然御配意アリタシ

五〇四 十月二十五日 内田外務大臣ヨリ 在中国小幡公使宛（電報）

对中国武器禁輸取極違反ニ付伊国政府ヘノ共
同抗議促進サレザルコトニ関シ英米仏公使ノ

説明ヲ求ムル様訓令ノ件

第六〇二号

往電第五九二号ニ關シ其後在伊大使回電ニ拠レハ同大使十
月上旬米国大使往訪ノ際本問題ニ關シ本国政府ヨリ何等訓
令ニ接シタルヤ否ヤヲ試問シタルニ同大使ハ支那ニ關スル
問題ニ就テハ近來何等訓令ニ接シタルコト無シト答ヘ其後
同大使ノ來訪ヲ受ケタルモ本件ニ關シ何等言及セス其ノ儘
内地旅行ノ途ニ上レル趣ニテ英仏各大使亦共ニ目下不在中
ニテ旁々羅馬ニ於テハ未タ何等議ニ上ラストノコトナル處
元來本問題ハ当初貴地米国公使ノ提議ニ依リ相当強硬ナルニ
同文電稿ヲ各本国政府ニ發送スルコトトナレル次第ナルニ
拘ラス今日ニ至テ尚何等ノ促進ヲ見サルハ意外トスル所
ニシテ斯ノ如クムハ関係国公使當時ノ談合ハ殆ト誠意ヲ欠
キ見様ニ拠テハ伊国側ノ契約違反ヲ高唱シテ実ハ當時英米

総領事 船津辰一郎（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

支那側ヘ引渡方差止メ中ノ銃器ニ關シ右壳込人側ノ願出ニ
依リ七月二十四日付機密第九七号^(註)ヲ以テ請訓ノ次第有之候
處今般更ニ壳込人側ヨリ右物件ヲ一先ツ日本又ハ大連マデ
積戻ノ許否伺出有之候就而ハ右ニ對シ何分ノ儀御回訓相煩
度此段申進候 敬具

本信写送附先 在支公使

註 機密第九七号省略セリ

五〇六 十一月六日 在中国小幡公使ヨリ 在内田外務大臣宛（電報）

英米公使ハ対伊共同抗議問題ニ対スル本国政
府ノ意向ヲ承知セザル趣ニ付右ハ直接本国政
府ニ問合スル方捷径ナルベキ旨回申ノ件

第一一七四号

貴電第五五〇号及貴電第六〇二号ニ關シ十一月五日米国公
使ニ面会右貴電ノ趣旨ニテ本件成行ニ就キ尋ねタル処同文
電報其當時直ニ華盛頓ニ打電シ置キタルモ其後ノ模様問合
ス事トスベント答ヘタリ尚又英國代理公使上海ヘ出張中ニ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五〇七

付十一月五日「バートン」ニ面会シ談及シタル処同官ハ米

国同様其後何等ノ報道ナシト答ヘ英國飛行機ガ最初ノ約束

ニ反シ軍用ニ供セラレ次デ張作霖及曹錕ノ手ニ帰シタルニ

対シ英國公使ヨリ屢々中央政府及張曹兩人ニ対シ嚴重交渉

中ナル處他面張作霖ハ伊國飛行家ヲ右飛行機ノ教官ニ傭ハ

ントスル意向アリ其件ニ閔聯シ伊國公使ト會談中同公使ヨ

リ兵器輸入禁止ハ一体何時解除セラルベキカト陳ベタルニ

付自分ハ支那ノ南北統一ノ実挙リ各國政府ニ於テ解除スル

モ可ナリト認ムルニ一致シタル時ナルベキモ斯ル時ハ容易

ニ來ルベシトハ思ハレズト答ヘ置キタリト語リ暗ニ英國側

ノ決意固キ事ヲ示シタル時ナルベキモ斯ル時ハ容易

ニ応ズベシトハ考ヘラレズ次ニ仏國公使ニハ別ニ問合ノ

上電報スベキガ当地各公使ハ何レモ電票ヲナシタルノミニ

テ其後ノ成行及各政府ノ意向ハ寧ロ直接各本国政府ニ御問

合アル方捷径且明瞭カト思考ス

五〇七 十一月十六日 内田外務大臣ヨリ

在中国小幡公使宛(電報)

註 外務大臣九月二十九日發第五五〇号ハ前掲在伊大使宛第八

四号ヲ転電セルモノナリ

カ秘カニ西伯利方面ニ武器ノ売込ヲ計リ甚シキニ至テハ陰

密馬賊トノ間ニ氣脈ヲ通シツツアルヤノ風説モアル折柄ニ

付本件兵器積戻後ニ於ケル処置振如何ニ付テハ聊カ考量ヲ

要スルモノアルニ付在天津總領事ニ於テ其ノ辺突止ノ上報

告方訓令トシテ申添ヘ置カレタン

五〇八 十一月十六日 内田外務大臣ヨリ

在伊國落合大使宛(電報)

中国ヘノ兵器輸出禁止ニ閔シ伊國政府ニ申入

二付回訓ノ件

第一〇二号

貴電第二一九号ニ閔シ本件兵器問題ニ付テハ此ノ際解禁方
関係國ト交渉ノ予定ニテ當方ニ於テ目下折角考慮中ノ次第
モアルニ付伊國政府ニ對スル警告方ニ付テハ此ノ際貴官ヨ
リ進ムテ何等ノ措置ニ出ツルコトハ差控ヘラレタク又他関
係國大使ヨリ開談ニ接セラレタル場合ニハ一應請訓ノ上措
置セラルル様致度シ

註 落合大使十一月十一日發第二一九号ヲ省略セリ右ハ中國ヘ

ノ兵器輸出禁止ニ閔シ伊國政府ニ對スル關係國共同申入ノ

件ニ付英仏大使ノ談話ヲ報告並我方ノ措置ニ付請訓セルモ

中国へ引渡方差止中ノ兵器ヲ本邦内地又ハ大連ニ積戻シ度旨ノ売込人ノ申出ニ対スル措置

振ニ付在天津總領事ヘ指示ノ件

第六六五号

十月三十日付天津來信機密第一五六号ニ閔シ支那側ヘ引渡

方差止中ノ兵器處分ニ就テハ一般的ニ何等解決ヲ講シ度所

存ナルカ貴電第一一七四号ニ拠レハ伊國政府ニ對シ警告ノ

件モ果然有耶無耶ニ葬リ去ラレントスル模様ナルノミナラ

ス仮令実効無キ宣言ニ過キストスルモ南北統一ニ閔スル大

総統令ノ公布ニ伴ヒ支那側ヨリ已定契約履行方更ニ嚴重督

促シ来ルヘシト想察セラルニ付旁々此際愈々往電第五二

六号後段ノ通リ近々在本邦英國大使ニ開談スル管ナルニ付

右ノ次第在天津總領事ノ含迄ニ至急通報アリタシ尙前記天

津來信ニ拠レハ本件兵器ヲ本邦内地又ハ大連迄積戻シタキ

意向ナルヤノ趣ナルカ右ニ就テハ支那側トノ間ニ契約解除

其他從來ノ損害等ニ閔シテモ充分ナル了解付キタル上ノ申

出ナルヘキヤ然ラスシテ從來引渡抑止ニ伴フ損害要償方ニ

閔シ種々申出ツルカ如キコトアルニ於テハ其煩ニ堪ヘサル

ニ付右等ノ点ニ就キ尚精查ノ必要アリ且又大連日本商人等

五〇九 十一月二十日 在中国小幡公使ヨリ

(電報)

泰平公司ノ湖南省ニ対スル兵器契約不履行ニ

付手附金元利及違約金ノ返還要求アリタルニ

依リ請訓ノ件

第一二四二号

往電第五五八号ニ閔シ前湖南督軍代表施ヨリ陸軍部軍械司

ハ曩ニ當地泰平ニ対スル該軍器ノ事ハ同部ニ於テ繼續弁理

スベキ旨回答シ置キタルモ今回之ニ干渉セズ手附金返還ニ

閔シ該代表ト泰平トノ間ニ直接處理セシムルコトニ改メタ

ル趣ヲ以テ本使ニ対シ手附金元利及違約金ノ返還方泰平ニ

命令アリ度キ旨申出アリ又泰平ヨリモ軍械司ヨリ十一月十

三日附右書簡ニ接シタル旨届出アリ既ニ東京本社ヘ電報シ

アル趣ナリ就テハ本件手附金ハ此際相當利子ヲ附シ返還セ

シムル外別ニ良法無カルベシト存ゼラルル處右ニ付テハ陸

軍側ノ意見モアルベキニ付可然御打合ノ上何分ノ儀至急御

決定相成度シ委細郵報

五一〇 十二月三日 内田外務大臣ヨリ

在中国小幡公使宛(電報)

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五一〇

中国へノ兵器供給差止問題ニ関シ英國大使ト

会談二付通報ノ件

附記 十二月一日内田外務大臣ヨリ在本邦英國大使ニ手交

手交ノ口上書

对中国兵器輸入禁止協調成立前締結ノ契約履行ニ関スル件

手交ノ口上書

对中国兵器輸入禁止協調成立前締結ノ契約履行ニ関スル件

(附記) 十二月一日内田外務大臣ヨリ在本邦英國大使ニ手交ノ口上書
对中国兵器輸入禁止協調成立前締結ノ契約履行ニ関スル件

述シ同公使ノ好意的考量ヲ求メラルコトトセハ本件促進上極メテ好都合ト思考ス

註 亜一機密送第一五九号省略セリ右ハ在本邦英國大使ニ手交
スペキロ上書ノ邦文及英文ヲ送付セルモノナリ

十一月一日内田外務大臣ヨリ在本邦英國大使ニ手交ノ口上書
对中国兵器輸入禁止協調成立前締結ノ契約履行ニ関スル件

第六九七号

十一月二十五日附亜一機密送第一五九号ニ関シ十二月一日
在本邦英國大使來訪ノ際本件口上書ヲ手交シ一応ノ説明ヲ
加ヘタル処英國大使ハ本件日本政府ノ提議ハ将来ニ於ケル
兵器ノ供給ニモ及ホサムトスル次第ナルヘキヤト質ネタル
ニ付我方提議ハ差当リ兵器供給差止メニ関スル協定成立前
締結ヲ了シタル契約ノ履行ヲ認メムトスル趣旨ナルカ英國
側ニ於テ右以上ニモ及ホサムトスル意嚮モアルニ於テハ何
時ニテモ別ニ考量スヘキ旨述ヘ置キタリ今後ノ経過ハ隨時
電報スヘキモ右不取敢尚上記英國大使ト会談ノ次第ハ目下
帰任ノ途次滯在中ノ「オルストン」公使ヘ同大使ヨリ談及
シアルコト思ハルニ付同公使帰任後適當ノ好機ニ於テ
貴官ヨリ本邦商人カ甚大ナル苦痛ヲ嘗メツツアル実情ヲ縷

伊太利ヨリ支那ニ対シ兵器売込ノ件ニ関聯シ日本外務大臣
ハ客年十二月三十日付書柬ヲ以テ日本駐劄英國代理大使ニ
対シ若シ伊太利人ノ過去ニ於ケル兵器引渡ノ事実ハ之ヲ寬
恕シ単ニ将来ニ於ケル引渡ヲ差止メムトスル英國政府ノ意
図ナルニ於テハ日本政府ハ強テニ異議ヲ挾ムモノニアラ
サルモ日本商人ト支那官憲トノ間ニ締結セラレタル既定契
約ノ兵器即チ支那ニ対スル兵器供給差止方ニ関スル關係各
國間ニ明ニ協調成立シタル後ニ於テ輸入セラレタル伊国兵
器ノ如キトハ自ラ性質ヲ異ニスルモノアリ旁々此分ニ付テ
ハ輸出並ニ引渡ヲ許可スルコト致度且支那側ニ於テ同意
スルニ於テハ一應支那ニ輸入シタル上南北妥協成立ノ際迄

使用ニ供セラレサル為メ適當管理方法ヲ講スルモ差支ナキ
旨申進シタル処英國代理大使ヨリ本年一月十九日付書柬ヲ
以テ過去ニ於ケル伊国兵器引渡ノ事実ヲ寛恕スヘキヤ否ヤ
ハ問題ニ非スンテ兵器売込ノ事実ニ付伊国政府ノ注意ヲ喚
起シ且将来ニ於ケル此ノ種協調ノ違反ヲ防止セムトスルニ
外ナラサルニ付日本政府ニ於テモ依然已存ノ協調ヲ恪守セ
ムコトヲ希望セラルト同時ニ曩ニ日本政府カ英國政府ノ
注意ヲ喚起セル「ヴィカース」商会对支那政府ノ飛行機借
款ニ付テハ該飛行機カ真実商用以外ニ供セラルノ意図無
ク且右商用以外ニ使用セラルルカ如キコト無キコト明確ナ
ラサレハ断シテ借款契約ニ承認ヲ与ヘラレサルヘキ旨ヲ告
知セラレタリ

然ルニ本年七月支那政府ノ禍乱ニ際シ關係国商人カ關係國
間已存ノ明約ヲ没却セル举措ニ出テタルノ事例ヲ聞知シタ
リ即チ
(一)「ヴィカース」商会对支那政府ノ禍乱ニ際シ關係国商人カ關係國
外ニ供セラレサルヘキハ曩ニ英國政府ノ言明セラレタル所
ナルカ最近北支那ニ於ケル兵戦ニ際シ安徽軍ハ飛行機ヲ利
用シテ天津附近ニ爆弾ヲ投下シタルヲ以テ直隸省長ヨリ天

報道ハ尚確証ナントスルモ信スヘキ報道ニ拠レハ某米国商人ハ這回ノ兵乱ニ際シ曩ニ列国ノ兵器供給禁止ニ関スル協定成立以前ノ契約ニ係リ且ツ代金交付済ノ銃器（此価格約百万弗）支那側ニ交付セルヤノ趣ナリ

斯ノ如ク関係国政府間ニ嚴存セル明約ヲ没却セル事実頻出スルノミナラス関係国当局ノ之ニ対スル取締亦徹底ヲ欠クノ嫌ナキニ非ザリシハ日本政府ノ頗ル遺憾トスル所ナルガ他方関係本邦商人ニ於テハ累次支那側ヨリ既定契約品ノ引渡ノ請求ヲ受ケ殊ニ契約ニ対シ手附金ヲ受領セル分ニ付テハ支那側ヨリ之ガ還附ヲ請求シ若シ之ニ応セサル節ハ起訴スヘキ旨申出テ居ルノ実情ニテ事態如斯ナル以上日本政府ニ於テモ此上此種日本商人ノ適法ナル商取引ノ履行ニ対シ掣肘ヲ加フルコト困難ト認メ從テ本邦商人ニ於テ如上ノ事情ノ下ニ其ノ進退ニ窮シハ直接支那側トノ間ニ何等解決ヲ講セムトスルカ如キコトアルヘキヲ危惧セルモ日本政府ハ常ニ熱心其誓言ノ恪守ヲ期シ此等商人ノ斯ル行動ニ出ツルヲ禁遏スルニ最善ノ努力ヲ致シタル結果今日ニ至ルマテ本取極ノ規定ニ違反スル何等ノ行為ヲ見サリシコトハ其ノ欣快トスル所ナリ然ルニ其後九月ニ至リ本問題ニ関スル伊

国人ノ態度ニ対シ同国政府ノ注意ヲ喚起スヘシトノ議駐支那公使間ニ起リ種々討議ヲ竭シタル末日英米仏四国公使ヨリ各本国政府ニ同文電票ヲ發シ駐伊関係国大使ヲシテ伊国政府ニ接洽セシメムコトヲ進言スルコトニ決セリ而シテ當時駐支帝国公使ハ從来帝国政府カ當業者ヲ抑制スル為多大ノ困難ヲ経験セル次第ヲ架説シ帝國政府トシテモ當業者ハ其危險ニ於テ何等解決ノ方法ヲ敢行スルカ如キコトアルモ之カ嚴遏ハ不可能ナルヘキヲ卒直ニ陳述シタルカ右ハ素ヨリ他関係国均シク感得セルヘク現ニ上記同文電票中伊国政府ノ明確ナル保障無キトキハ他関係国政府カ各自由行動ヲ執ルモ正當ナリト思惟スルニ至ルヘキヲ恐ル（It is feared that other Governments may feel justified in resuming their liberty of action）トノ一節ヲ挿入スルニ至レルハ實ニ本問題ニ關スル関係国ノ切実ナル立場ヲ表明セルモノト謂フヘシ爾來帝国政府ハ右北京ニ於ケル決議ニ基ク伊国人ノ態度ニ關シ伊国政府ノ注意ヲ喚起スルノ手段カ満足ナル結果ヲ齎スヘキヲ痛切ニ期待シ居タルニ拘ラスソハ何等所期ノ進展ヲ見サリシノミナラス仮令此ノ際之カ實行ノ歩ヲ進ムルモ結局伊太利側ノ過去ノ不信ヲ寛

恕スルノ結果ニ終リ所期ノ目的ヲ達シ得サルヘキハ之ヲ前例ニ徵シ殆ト明確ニシテ而モ一方支那側ヨリハ最近南北統

一二関スル大總統令ノ宣布ヲ理由トシテ契約ノ履行ヲ迫ルコト頗ル急ニシテ今ヤ日本関係商人ノ痛苦ハ日ヲ趁ウテ益々甚シク最早徒ニ事態ノ推移ニ放任スヘカラサルモノアルヲ以テ實際的解決ヲ計ル為速カニ的確ナル措置ヲ執ルノ必要アリ依而爰ニ如上本問題ニ關スル在來ノ經緯ト特ニ日本側ノ甚大ナル痛苦ヲ率直ニ披瀝スルト同時ニ最近ニ於ケル極メテ不平等ナル事態ヲ調節セムカ為メ此際關係国政府間ニ「本問題ニ關スル關係各國間ノ協調成立前已ニ契約ヲ締結シタル兵器ニ付テハ各國共ニ之カ輸出並支那官憲ニ対スル引渡ヲ許可スヘシ」

トノ趣旨ノ了解ヲ遂ケムコトニ対シ英國政府ノ切実ナル考慮ヲ求メ其ノ同意ヲ得ムト欲ス

五一 一二月四日

在伊國落合大使（ヨリ
内田外務大臣宛（電報）

中国ヘノ兵器輸入禁止ニ關シ我方ノ立場ヲ明
力ニスル必要生ジタル場合ノ措置ニ付請訓ノ

件

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五一一

貴電第一〇二号末段ニ關シ三日仏國大使ヨリ私信ヲ以テ本件ニ關シ何等カ訓令ニ接シ居レリヤ問合セ来リタルニ付不取敢本國政府ト往復中ナル旨回答ン置キタルガ過日偶然米國大使ニ会合ノ節同大使モ本件ニ付英仏兩國大使ハ伊國政府ニ警告スル所アリタル由ヲ聞キタル事及自分ハ何等訓令ニ接シ居ラザル事ヲ語リ武器密輸入ノ行ハルルハ事實ナリヤ本問題ニ關スル本使ノ所見如何ト問ヒタルニ付本使ハ本件ハ久シキ以来ノ問題ナリト承知ン居ルモ最近ノ事態ハ尙情報ヲ待チ居ル次第ナリト答ヘ置キタル事アリ又近頃一通信社ガ最近支那ニ於ケル武器密輸入ノ事ニ付日伊両公使館員之ニ關係セルヤニテ北京ニテ物議ヲ起セリトノ報道ヲ伝ヘ之ニ伴ヒ新任ノ在「トリエスト」支那領事ガ当地支那公使館ニテ同通信社ヨリ「インタービュー」ヲ求メラレ多少本邦ニ不快ナル言ヲ弄シタル如キ報道アリタルニ付一応堀田書記官ヲシテ同公使館ニ問合（脱）促シ置キタル次第ナルガ本件ガ問題トナリ來ラントスル模様アルニ付テハ我方ノ立場ヲ明カニナスノ必要ヲ生ジ来ル事アルベシト認ムルニ付此点ニ付何分ノ儀至急電訓ヲ請フ

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五一二

五一二 十二月九日

内田外務大臣ヨリ
在伊国落合大使宛（電報）

中国へノ兵器輸入禁止ニ関シ伊国政府ニ英仏
両国大使單独ニ警告シタルハ事實ナリヤ確メ
方訓令並我方ノ態度訓示ノ件

第一一三号

貴電第二五七号ニ關シ英仏両国大使カ予メ日米両国大使ニ
何等諮詢コト無クシテ已ニ単独伊国政府ニ警告ヲ与ヘタル
コト事實ナリトセハ之往電第八五号本件警告問題ニ關シ協
調的態度ニ出テムトスル駐支關係國公使間協定ノ精神ニ背
戾スル嫌アルノミナラス万一眼事實ニシテ而モ貴電米国大
使來話ノ通リナリトセハ仏國大使カ本問題ニ關シ何等訓令
接到了有無ヲ貴官ニ問合セ來レルハ同大使ニ於テ已ニ伊國
政府ニ對スル警告實行後ナルカ如ク果シテ然ラハ是亦頗ル
了解ニ苦マサルヲ得サル所ナリ就テハ貴官ハ英仏両国大使
ニ對シ直接右報道ノ実否ヲ訊シ若シ右事實ナルニ於テハ本
問題カ客年貴電第二四〇号同年十二月ニ於ケル警告ト同一
性質ノモノニシテ駐支關係國公使ノ同文電票モ畢竟貴地ニ於
ケル關係國大使ノ共同措置ヲ予期セルモノト謂ハサルヘカ

全然誣妄ノ臆測ナル旨明確ニ打消シ置カルル様致度シ
英米仏ニ転電アレ

註 大正八年十二月十九日在伊大使發第一四〇号ニ付テハ同年
日本外交文書第二冊上卷四六八頁參照

五一三 十二月十日

内田外務大臣ヨリ
在伊国落合大使宛（電報）

中国へノ兵器輸入禁止協定ニ關シ對伊国警告
ハ關係國共同措置ニ出ツルコト望マシキ旨仏
國大使ニ申入方訓令ノ件

第一一六号

往電第一一三号ト行違ニ貴電第二五八号接到了御來示ニ拋レ
ハ英仏両国大使ニ於テハ本国政府ヨリ訓令ニ接シタルモ未
タ实行ヲ了セサルモノノ如ク帰スル所米国大使ノミ未タ本

国政府ヨリ何等訓令ニ接セサルモノト認メラルル處送次ノ
御含ノ上仏國大使ニ對シテハ貴官ニ於テモ同一歩調ニ出ツ
ル警告カ特ニ効果アルヘシトモ思料セラレサルモニニ列國

協調ノ精神ニ從ヒ之ニ賛同シタル次第ナルニ付テハ其ノ辺
往電ニテ申進シタル通り我方ニ於テハ本件伊国政府ニ對ス
ル警報カ特ニ効果アルヘシトモ思料セラレサルモニニ列國
協調ノ精神ニ從ヒ之ニ賛同シタル次第ナルニ付テハ其ノ辺
御含ノ上仏國大使ニ對シテハ貴官ニ於テモ同一歩調ニ出ツ
ルニ異存無キモ元來本件カ当初駐支米國公使ヨリ提議セラ
ル事実隨時伝ヘラレタルニ拘ラス我方ニ於テハ嚴重之力取
締ヲ實行シ來レル次第ナリ而モ之カ為メ本邦商人ノ被レル
苦痛極メテ甚大ニシテ此ノ上右等商人ノ正当ナル商取引ヲ
抑止スルハ政府トシテ到底忍ヒ難キ所ナルニ付何等カ調節
ノ方途ヲ講シ度ク旁々往電第一〇二号ヲ以テ目下考慮中ノ
次第アル旨申進シタル次第ナルカ其後日本商人ハ支那側ヨ
リ南北統一令發布ノ今日右已定契約ノ不履行ヲ難詰セラレ
手附金ノ還付若ハ訴訟提起ヲ迫ラルニ至リ最早ヤ政府ト
シテモ打捨テ難キニ到レルヲ以テ在本邦英國大使ニ事情ヲ
打明ケ切メテハ兵器輸入差止メニ關スル列國協定成立前契
約ヲ締結シタル分ニ對シテハ此際之カ履行ヲ認容ストノ了
解ヲ遂ケ度ク折角懇談ヲ試ミ居ル次第ニシテ更ニ進ムテハ
他關係國側ニ提議シ度キ心算ナリ就テハ右等ノ事情篤ト御
含ノ上我方ノ立場ニ關シ何等中傷的報道伝ハレル場合ニハ

六三三一

ラサル所以ヲ輕ク指摘シ置カレタシ尤モ我方ヨリモ伊国政

府ニ申入ルヘキヤ否ヤニ就テハ右英仏側ノ措置如何ヲ確カ
メタル上更ニ何分ノ儀申進スヘシ尚又支那ニ對スル兵器輸入
問題ニ關スル我方ノ態度ハ往電第八四号ヲ以テ申進シタ
ル通リニシテ伊國側ハ勿論他國側商人ニ於テ密ニ兵器輸入

ノ事実隨時伝ヘラレタルニ拘ラス我方ニ於テハ嚴重之力取

締ヲ實行シ來レル次第ナリ而モ之カ為メ本邦商人ノ被レル
苦痛極メテ甚大ニシテ此ノ上右等商人ノ正当ナル商取引ヲ

抑止スルハ政府トシテ到底忍ヒ難キ所ナルニ付何等カ調節

ノ方途ヲ講シ度ク旁々往電第一〇二号ヲ以テ目下考慮中ノ
次第アル旨申進シタル次第ナルカ其後日本商人ハ支那側ヨ

リ南北統一令發布ノ今日右已定契約ノ不履行ヲ難詰セラレ

手附金ノ還付若ハ訴訟提起ヲ迫ラルニ至リ最早ヤ政府ト

シテモ打捨テ難キニ到レルヲ以テ在本邦英國大使ニ事情ヲ

打明ケ切メテハ兵器輸入差止メニ關スル列國協定成立前契

約ヲ締結シタル分ニ對シテハ此際之カ履行ヲ認容ストノ了

解ヲ遂ケ度ク折角懇談ヲ試ミ居ル次第ニシテ更ニ進ムテハ

他關係國側ニ提議シ度キ心算ナリ就テハ右等ノ事情篤ト御

含ノ上我方ノ立場ニ關シ何等中傷的報道伝ハレル場合ニハ

レタル行懸ニモ鑑ミ此際先以テ米国大使ヲ慾漁シテ本国政
府ノ方針ヲ確メシタル上列國共同措置ニ出ツルコト極メ
テ望マシキ旨回答シ置カレタシ尚往電第一一三号ヲ以テ申
進シタル通り我方ニ於テハ本件兵器供給差止メニ關スル國
際協定成立前ノ締結ニ係ル契約履行認容方ニ付当地ニ於テ
已ニ在本邦英國大使ニ開談セル行懸モアルニ付若シ貴地ニ
於テ伊国政府ニ對スル同文警告ヲ與フルコトナル場合ニ
於テモ其ノ内容ハ累々上記當地ニ於ケル日英間ノ商議ニ及
ホサナル様御注意アリ度其ノ辯御如才無カルヘキモ為念申
添フ

註 落合大使十二月五日發第二五八号省略セリ右ハ中國へノ兵
器輸出禁止ニ關シ伊国政府ニ對スル申入ニ付仏國大使トノ
田中陸軍大臣宛（電報）
会談ヲ報告セルモノ

五一四 十二月十二日

東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ

日本ガ中國ニ兵器引渡フハ望マシカラザ
ル旨英國公使ノ見解報告ノ件

支八七九

兵器供給（六字不明）英國公使歸任シタルニ付昨日挨拶ノ
為訪問シタル處公使ハ兵器供給問題ニ關シ意見ヲ述ヘテ曰

六 中国へノ兵器供給ニ關スル件 五一三 五一四

六三三一

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五一五

六三四

ク自分帰國後在英米国人ハ日本カ支那ニ兵器ヲ供給スルハ徒ニ支那ノ内乱ヲ助長スルモノナリトノ観測ヲ有スルモノ多キニヨリ余ハ日本ノ為委曲説明シタルモ彼等ヲシテ十分了解セシムルコト困難ナリシ次第ニテ支那ノ現状ハ統一未タナラス各地不穏ニシテ何時内乱勃発スルヤモ計ラレス此際日本カ兵器ノ供給ヲ主張セラルハ却テ日本ノ利益ナラサルヘシト思考スル旨ヲ述ヘタリシニ依リ小官ハ泰平公司ノ現状並（五字不明）兵器ヲ供給スレハ善シ然ラサレハ手附金ノ還附ヲ要求シ既ニ裁判ニ訴ヘントンツアルヲ諒トセラレンコトヲ述ヘタルモ結局公使カ末タ兵器輸送禁止解禁ノ時機ニアラスト考フルノ念ハ中々強キモノノ如ク察セラル小官面会後ニ於テ小幡公使ハ同公使ヲ訪問シ同問題ニ付テ其諒解ヲ求メタリシモ小官ニ対スルト同様ノ意見ヲ述ヘタル由其委細ハ公使ヨリ報告アルヘキニヨリ之ニヨリテ御承知アリタシ

終リニ英國公使ハ対支問題ニ就テ将来日英両国カ協同事ニ当ル事ノ必要ヲ述ヘ自分ハ日本ニ多クノ友人ヲ有シ且小官トハ倫敦以来ノ古キ友人タルノ関係上昨日モ忌憚ナキ意見ヲ吐露シタルカ今後ハ更ニ一層密接ノ連絡ヲ維持シ互ニ胸

禁ノ時機ニアラスト考フルノ念ハ中々強キモノノ如ク察セ

ラル小官面会後ニ於テ小幡公使ハ同公使ヲ訪問シ同問題ニ

付テ其諒解ヲ求メタリシモ小官ニ対スルト同様ノ意見ヲ述

ヘタル由其委細ハ公使ヨリ報告アルヘキニヨリ之ニヨリテ

御承知アリタシ

襟ヲ披キ両国民ノ為貢獻スル所アルヘシト云ヘリ依テ小官ハ支那ニ対シ日英米三国互ニ協調スル能ハサル間ハ対支外交ノ円滑ヲ期スルコト難シ然ルニ日本ノ関係ハ閣下御承知ノ如ク困難ナル状態ニ在ルモ英米ノ関係ハ然ラス殊ニ日本ノ英米商人中ニハ日英同盟ノ繼續ニ反対スルモノアルヲ以テ英本国ノ輿論ヲ動カスニ足ラス殊ニ閣下カ前述ノ如キ意見ヲ有セラル以上ハ将来日米間ノ協調ニ尽力セラレ三国協調ヲ纏メ以テ対支外交ヲ円満ナラシムル上ニ於テ一段ノ進歩ヲ期待スルヲ得ヘク之カ為ニハ常ニ腹藏ナキ意見ヲ交換シ互ニ了解ヲ得ルコトニ致シタシト答ヘ置ケリ

右余談ナカラ参考迄

五一五 十二月十二日 在伊國落合大使（ヨリ）

内田外務大臣宛（電報）

中國ヘノ兵器輸入禁止協定違反ニ關シ英仏大

使ヨリ対伊共同警告ヲ行フ為日本ノ賛同ヲ得

度旨申出デタルニ付請訓ノ件

第二六四号

貴電第一一三号ニ關シ十二日英仏両大使ニ夫々面会シタル處双方共一致セル説明ニ依レハ両大使共昨年十二月ノ協同

答ヘ置ケリ

第一三一五号
註 落合大使十一月十一日發第二一九号省略セリ右電報ハ中國ヘノ兵器輸入禁止ニ關シ伊英米仏大使ガ本国政府ヨリ訓令ヲ受ケタリヤ否ヤ及其内容ヲ報告セルモノ

タルコト無シ往電第二一九号英仏大使ノ措置及往電第二五七号該措置ニ閔スル米国大使ノ談話ハ共ニ昨年ノ警告ノ続キトシテ両大使カ外務大臣ニ面会ノ序ヲ以テ其ノ後ノ成行ヲ問ヒ口頭ニテ交渉ヲナス迄ノコトニテ九月下旬北京ニ於ケル四国公使ノ決議ニ依リ新ニ伊国政府ニ対シ将来ニ対スル保障ヲ需メムトスルハ今ヨリ關係国大使間ニ打合ヲナシテ実行セムトスルモノナリ尚本件ニ付米国大使モ協同措置ニ贊同スヘキ旨漸ク本国政府ノ訓令ニ接シタル旨本日（十二日）仏国大使ニ通知セリ就チハ日本側ヨリモ本使ニ於テ之ニ贊同スル様至急請訓ヲ希望スル次第ナリトノコトナリ尚米国大使ノ話ニ依レハ同大使カ本件協同措置ニ關スル訓令ニ接シタルハ今ヨリ凡ソ三週間以前ニシテ伊国政府ニ提出スヘキ文案ヲ仏国大使ニ提議シ置キタリトノコトナリ右ノ如ク今漸ク貴電第八四号ヲ實行スルノ運ヒトナリタル次第ニテ且此ノ際貴電第八四号ノ趣意ヲ変更スルコトハ甚タ面白カラサルヤニ思考セラルニ付其ノ辺御高慮ノ上至急何分ノ儀電訓ヲ請フ

英米仏ヘ転電セリ

六 中国ヘノ兵器供給ニ關スル件 五一六

襟ヲ披キ両国民ノ為貢獻スル所アルヘシト云ヘリ依テ小官ハ支那ニ対シ日英米三国互ニ協調スル能ハサル間ハ対支外交ノ円滑ヲ期スルコト難シ然ルニ日本ノ関係ハ閣下御承知ノ如ク困難ナル状態ニ在ルモ英米ノ関係ハ然ラス殊ニ日本ノ英米商人中ニハ日英同盟ノ繼續ニ反対スルモノアルヲ以テ英本国ノ輿論ヲ動カスニ足ラス殊ニ閣下カ前述ノ如キ意見ヲ有セラル以上ハ将来日米間ノ協調ニ尽力セラレ三国協調ヲ纏メ以テ対支外交ヲ円満ナラシムル上ニ於テ一段ノ進歩ヲ期待スルヲ得ヘク之カ為ニハ常ニ腹藏ナキ意見ヲ交換シ互ニ了解ヲ得ルコトニ致シタシト答ヘ置ケリ

右余談ナカラ参考迄

五一五 十二月十二日 在伊國落合大使（ヨリ）

内田外務大臣宛（電報）

中國ヘノ兵器輸入禁止協定違反ニ關シ英仏大

使ヨリ対伊共同警告ヲ行フ為日本ノ賛同ヲ得

度旨申出デタルニ付請訓ノ件

第二六四号

貴電第一一三号ニ關シ十二日英仏両大使ニ夫々面会シタル處双方共一致セル説明ニ依レハ両大使共昨年十二月ノ協同

答ヘ置ケリ

第一三一五号
註 落合大使十一月十一日發第二一九号省略セリ右電報ハ中國

ヘノ兵器輸入禁止ニ關シ伊英米仏大使ガ本国政府ヨリ訓任ニ面会御来示ノ趣旨ヲ詳述シ切ニ同公使ノ考慮ヲ求メタル処同公使ハ其ノ忌憚ナキ意見ナリトテ自分カ今回兩度ノ米国通過及英國滯在中見聞セル所ニ依レハ日本カ支那ニ於テ其ノ国内ノ紛争ヲ喜ヒ動々モスレハ之ヲ誘発セントスル考ヲ有スルモノナリトノ観察今尚渺カラス自分ハヨク日本ノ眞情ヲ知ルカ故ニ機会アル毎ニ斯ル印象ノ打破ニ努メタルモ右ハ容易ニ冰解シ難カルヘク（同公使ハ今後モ同盟國ノ公使トシテ斯カル方面ニ尽力スル考ナリト特ニ附言セリ）自分ノ日本ノ為ニ遺憾トスル所ナルカ兎ニモ角ニモ実際ノ情況斯クノ如キ折柄日本カスル提議ヲ試ミラルハ独

六 中国へノ兵器供給ニ関スル件 五一七

六三六

リ他列強ノ同意ヲ得ルコト因難ナルヘキノミナラス前述ノ如キ日本ニ対スル誤解ヲ益々深ウスルノ虞最モ多ク日本ノミノ為ニ計ルモ甚タ不得策ト思考ス況ヤ此ノ際ニ於ケル軍器輸入ノ解禁ハ如何様ニ考フルモ支那国内ノ紛争ヲ益々助长セストハ断定スルヲ得ス又從ツテ自分ノ良心上此ノ際英

国政府ニ解禁ヲ勧告スルニ忍ヒスト述ヘ尚余談トシテ国内商人ノ苦痛其ノ政府ニ対スル懇願ハ何レノ國モ同様ニシテ独リ日本ニ限ルコトニ非ス又英國飛行機ニ付テハ右ハ最初

商業用ノモノタル明ナル諒解ノ下ニ輸入セラレタルモノニシテ本国積出シ前其ノ商業用タルコトヲ明カニスル為日本武官ノ一見ヲ求メタルモノ儀ニ及ハストセラレタルコト又本年夏戰闘ニ用ヒラレタルハ最初瑞西国人機関手カ之ヲ運用シタル由ナルモ英國側飛行家ニ対シテハ戰闘使用ヲ禁止シアリタルモノナリト説明シ米國銃器ノ引渡ハ聞ク所ニ依レハ全ク米國官憲ノ意思ニ反シテ為シタルモノニシテ其ノ後關係会社ノ支配人ヲ早速免職シタル趣ナリト語レルニ付本使ハ英國飛行機カ最初保定ニ赴キ爆弾ヲ投シタル趣ナリシ等ノコトヲ話シ置キタルカ英國公使何レニセヨ本件我カ方ノ提議ハ日本ノ為甚タ不得策ナルヘキヲ恐ルルノミナ

五 一七 十二月十三日 東在中国日本公使館附陸軍武官ヨリ
支那ト商業上關係アル各國ニモ甚大ノ不利益ヲ与フルモノナル旨繰返シ數衍陳述シタリ先日会见ノ東少将ニ対シテモ略々同様ノ意見ヲ述ベタル趣ナリ

中国へノ兵器引渡ニ關シ兵器輸入禁止解除件 見合ハサレ度旨ノ斬總理ノ意向報告ノ件

支八八三

兵器解禁ニ関スル支那側ノ意向

兵器輸入禁止ノ取極解除ニ就テハ東京ニ於テ英國大使ノ諒解ヲ求メラレツツアルコトハ承知シアルカ支那政府カ果シテ該兵器ノ至急交附ヲ希望シアルヤ否ヤ疑フトコロアリンニ依リ余晉蘇^(註)ヲ通シテ斬總理ノ内意ヲ糺シタル処本日余晉蘇來訪シテ曰ク總長ハ既契約ノ各督軍ヨリ兵器供給ノ実施ヲ督促セラレ若シ日本カ之ヲ實行セサレハ契約破棄ノ旨申出テ其ノ回答ニ困リ居ルモ中央トシテハ南北統一未タ成ラス此時ニ方リ兵器ノ供給ヲ受クルトキハ南方ハ必ス北方カ武力鬭争ニ出ツルモノナリト判断シ又々物議ヲ釀シ統一ヲ

阻害スルヲ以テ日本当局ノ御尽力ハ感謝ノ至リニ堪ヘサルモ右ノ事情諒察ノ上輸入禁止解禁迄暫ク輸入ハ見合ハサレタキ意見ヲ有スト右ハ禁止解禁ト輸入見合セハ別問題ナリト雖モ現在ノ情況ニ於テ兵器供給ニ尽力セル總長ノ意向御参考ノ為

註 斬總理ハ陸軍總長ヲ兼任ス

五一八

十二月十七日

内田外務大臣ヨリ

山県閑東厅長官宛(電報)

閑東州ニ於ケル兵器移動ノ取締振竝大連及青

島ヨリ中國へノ兵器輸入制限ニ關スル取極ノ

日英間締結ニ対スル意見回電方指令ノ件

第三号

客年二月支那ニ対スル兵器供給差止ニ關スル列国間ノ協定成立以來閑東州租借地ヨリ滿洲内地ニ供給セラルモノハ

勿論本邦其他ヨリ閑東州ニ輸入セラル兵器ニ就テモ貴官ニ於テモ一層取締ヲ励行セラレ居ル儀ト思考スルモ右取締振ノ現状参考迄ニ委細電報アリタシ尚最近在本邦英國大使館ヨリ英國政府ニ於テハ滿洲内地ニ供給セラル疑アル同国人ノ大連向武器輸出許可出願ニ対シ許可ヲ与ヘサルコト

アリ

五一九 十二月二十日 山県閑東厅長官ヨリ

内田外務大臣宛(電報)

閑東州ニ於ケル兵器移動ノ取締狀況並中國へ

ノ兵器輸入制限ニ關スル日英取極締結ニ付テ

ハ意見無キ旨回電ノ件

兵器輸入ニ關スル貴電諒承閑東州及州外滿洲内地ヘノ兵器彈薬ノ輸出入ニ付イテハ昨年列国協定ノ趣旨ニ依リ嚴重取締ヲ励行シ一切許可ヲ与ヘサルコトニ成リ居レリ又密輸出入ノ取締ニ付イテハ警察官ヲ督励シテ遺憾ナキヲ期シツツ

六 中国ヘノ兵器供給ニ関スル件 五二〇

後段御取極ノ件ハ意見ナン

五二〇 十二月二十七日 在中國小幡公使宛 (電報)

内田外務大臣ヨリ
カ
九七号当地ニ於ケル日英間商議ノ經緯ヲモ考慮ニ加ヘタル

中国ヘノ武器輸入禁止勵行方在伊國落合大使

ヨリ伊國政府へ申入ノ次第通報ノ件

第七四九号

往電第六〇二号ニ關シ其後在伊大使來電ニ拠レハ漸ク他閥
係国政府ヨリ駐伊當該国大使ニ對シ訓令到達セル趣ニテ之
カ實行方法ニ關シ意見ノ交換ヲ試ミタル處仮國大使ハ四國
大使館カ同文又ハ共同申入ヲ為スハ好マシカラズ寧口各自
受取リタル訓令ノ趣旨ニ依リ適當ト思惟スル所ニ遵ヒ文書
又ハ口頭ニテ伊國政府ニ申入ルコトセバ可ナルヘント
ノ意見ニテ英國大使モ大体同意見ナルカ如ク一方米國大使
ノ談話ニ拠レハ英仏兩國大使ハ隨分立入リタルコトヲ認メ
テ本件申込ヲ為スモノノ如クナルモ余リニ彈劾的意味ヲ申
入ルハ如何ノモノニヤ旁々米國側ニ於テハ簡単ナル覺書

ヲ送致スルニ止メ度意向ナリトノコトニテ要スルニ他關係
國大使ノ意見合致ニ至ラズ仍テ落合大使ニ於テハ往電第六
九七号當地ニ於ケル日英間商議ノ經緯ヲモ考慮ニ加ヘタル
書ノコトヲ告ケ近頃支那ニ於ケル伊國人ノ武器取引ニ付在
北京日本其他關係國公使館ノ注意ヲ惹キ居ルコトヨリ貴電
第一〇〇八号所掲山海關及上海ニ於ケル事實ヲ述ヘ客年十
二月覺書ニ認メアルカ如ク支那ニ於ケル武器輸入禁止ニ伊
國側ノ協力スル様更ニ保障ヲ与ヘラレムコトヲ本国政府ノ
訓令ニ依リ要望スル旨ヲ述ヘ且ツ本件禁止ヲ解カムトスル
トキハ列國協定ノ上ニテ為スコトシ度次第ナリト口頭ニ
テ陳述セル處外務大臣ハ上海ニ於ケル伊國武器取引ノコト
ハ全然無根ナリ又其他落合大使ノ述ヘタル所ニ就テハ考究
ノ上何分ノ回答ニ及フヘキ旨答ヘタル趣ナリ

日本外交文書

大正九年 第二冊 上巻 終

日本外交文書
大正九年第二冊上巻
(大正期第二十五冊ノ一)
不許複製

Documents on
Japanese Foreign Policy
1920 Volume II

Part I

昭和四十七年十二月二十日 発印

外務省編纂

外務省発行

印刷所 東京都江東区亀戸四一五二一
ヨシダ印刷株式会社亀戸工場